

報告事項イ

「とっとりICT活用ハンドブック」(増補版)の作成について

「とっとりICT活用ハンドブック」(増補版)の作成について、別紙のとおり報告します。

令和4年4月13日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

「とっとり ICT 活用ハンドブック」(増補版)の作成について

令和4年4月13日
教育センター

<概要>

県教育委員会では令和4年度を GIGA スクール構想の活用定着期ととらえ、各学校において ICT 活用の定着の後押しができるよう「とっとり ICT 活用ハンドブック」の増補版を作成しました。

内容は、県のアクションプラン提示による方向性の確認、すべての教員が身に付ける具体的なスキル、ICT 活用推進地域（小・中）の実践事例、鳥取県情報活用能力体系表など、各学校における ICT を活用した授業づくりに寄与できるものとしています。

特に ICT 活用実践事例は小学校1年生～中学3年、また小・中の特別支援学級の事例も含めて100事例を超えており、幅広く活用している先行事例から多くのヒントを得て、令和4年度は県内の学校で活用が促進されることを期待しています。

また、次年度の活用充実期につなげるため、単なる機器やアプリの活用から、学習のねらいを達成するために活用する方向にシフトする必要があります。そのため、実践事例から授業づくりのヒントをつかむと同時に、構想している授業の中にどのような情報活用能力が含まれるのかを教員が意識できるような構成にしています。

<主な内容>

- ・令和4年度に向けたアクションプラン
鳥取県学校教育情報化推進計画（R2～R5）の年次計画
- ・活用定着に向けた教員の行動目標
教員の行動目標としている三つのスキル（カメラ機能、共有機能、アンケート機能）を授業で活用するためのポイントの提示、キーボード入力への取組
- ・ICT活用実践事例（小・中学校 全112事例）
ICT活用教育推進地域を中心とした実践事例の紹介
- ・鳥取県版情報活用能力体系表
JAPET&CEC（日本教育情報化振興会）の情報活用能力ベーシックと連動させることで、情報活用能力を教科にまで落とし込んで授業づくりが可能

<周知方法>

- ・教育センターホームページで電子データを公開。